



浅間神社だより

第2号

令和7年8月吉日

畑沢浅間神社広報班

【 例大祭御礼及びごあいさつ 】

7月19日(土)、20日(日)の例大祭におきましては、氏子はもとより多くの皆様方のご支援を頂き誠にありがとうございました。心配された台風も直前に通過し前日に梅雨明けを迎えるなど、恵まれた条件の中で実施することができました。

祭礼がここまで自主的かつ組織的に運営されている神社は稀との専門筋の評価も頂き、環境変化もあるなか、地域有数の賑わいを見せる夏祭りとの評判を裏切ることなく実施できたこと誇らしく感じております。

歴史のある畑沢浅間神社ですが、他の多くの神社同様、氏子の減少傾向が長年に渡り続いております。神社組織の抜本的な改編も含め、永続的な神社存続の方法について検討中ではありますが、皆様方には今後とも畑沢浅間神社へのご支援をお願い申し上げるとともに、今年度後半に予定されている諸行事にもぜひ足をお運び頂ければ幸いと存じます。

(氏子総代 小泉 武)

*例大祭の様子について裏面に2日間の写真がございますのでぜひご覧ください。

【 お知らせ・ご案内 】

① 境内の回廊の欄干の補修・塗装が、専門知識を持つボランティアの皆様および一部役員の尽力により実施されました。欄干の一部は参道での伐採樹木の枝を活用、旧来より残る部分も磨きや塗装だけでも1週間以上の時間を要する大作業でしたが、無事に例大祭に間に合いました。



② 11月23日(日)に新嘗祭・七五三を行います。社務所にて御朱印の頒布(初穂料500円)もごさいます。*御朱印の頒布は、初詣(~1/3)・例大祭・新嘗祭当日のみとなります。

③ 令和8年元旦朝0時より、例年通り元旦祭を実施します。社務所は3日まで開きます。

七五三はぜひ、地元畑沢浅間神社へ！

11/23(祝)

七五三ってどんなお祝い？

◆7歳、5歳、3歳の子どもの成長を祝う日本の年中行事で、報告・感謝・祈願を行う奉告祭です。

七五三の由来は？

◆始まりは平安時代とも江戸時代ともいわれる歴史ある神事ですが、明治改暦以降は新暦の十一月十五日とされました。しかし現在では柔軟に考えられています。畑沢浅間神社では、新嘗祭と兼ねて十一月二十三日に実施いたします。

畑沢浅間神社で七五三を行うには？

◆当日午前9時半〜午後3時(受付は2時半まで)の間に直接お越しください。初穂料は、お名前をお読みする七五三対象のお子様お一人につき5千円となります。*千歳飴つき



宵宮祭・本祭スナップ

